

平成26年度 事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

I. 平成26年度総括

平成 26 年度の日本経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減や夏の天候不順の影響に加え、輸入物価の上昇などの要因によって年度前半には実質 GDP 成長率がマイナスとなったものの、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」の一体的推進によって緩やかな回復基調が続いています。こうした経済情勢を受けて、ソフトウェア製品の売上はほぼ順調に推移しました。(特定サービス産業動態統計調査によれば、平成 26 年のソフトウェア・プロダクツの売上高は前年比 101.4%。)

CSAJ の会員数は、平成 26 年度期首の 409 社から期末には 417 社と 8 社増加し、平成 26 年度の会費収入は前年度比 5.7%増の 92 百万円となりました。

一方、IT の世界では、クラウド・コンピューティングの本格的な普及、アプリケーションのマルチデバイス化、IoT (モノのインターネット) の進展とビッグデータの活用拡大など大きな潮流の変化が続いています。こうした中、コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)は、新会長の「シンクタンク化」、「グローバル化」、「ビジネスチャンスの拡大」という 3 つの新しい方針に基づき、各委員会の下に研究会を置くことにより相互の連携を強化したほか、U-22 プログラミング・コンテストの実施、パッケージソフトウェア品質認証事業およびプライバシーマーク審査事業などの事業活動の強化・拡充、委員会、研究会、セミナー、勉強会等の開催、各種情報提供、関係省庁・団体との協力活動など幅広い活動を行いました。

以下は、26 年度活動のトピックです。

- ◇ 和田成史現名誉会長 (前会長) が藍綬褒章を受章 (CSAJ が栄典団体として認定)
- ◇ 「ビジネス拡大委員会」、「セキュリティ委員会」、「交流委員会」の 3 委員会を新規に設置
- ◇ 「メンタルヘルス研究会」、「ビジネスマッチング研究会」、「中小建設業・設備業 IT 推進研究会」が新規研究会として活動を開始
- ◇ 総務委員会に「スタートアップアクセラレータ WG」を設け、有能な IT 起業家の発掘とその支援を行う「CSAJ スタートアップ支援事業」について検討、計画を策定
- ◇ マイナンバー制度について政府与党と意見交換するとともに、政策委員会の下に番号制度 WG を設置し、特定個人情報保護委員会とも意見交換を行い、要望書を提出
- ◇ U-22 プログラミング・コンテストを運営事務局として実施 (応募総数 221 作品)
- ◇ アライアンスビジネス交流会を 6 回開催 (延べ参加者 210 名)
- ◇ 米国シリコンバレー視察ツアーを実施 (4 月)
- ◇ 日・台 IT ビジネスアライアンス交流会に参加 (6 月)
- ◇ フィリピン・インドネシア視察ツアーを実施 (11 月)
- ◇ エストニア視察ツアーを実施 (12 月)
- ◇ IoT をテーマとしたセミナーを実施 (参加 91 名)
- ◇ 若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修を実施 (5 社 17 名の参加)
- ◇ アジャイル開発に関するセミナーと研修講座 (全 6 回) を開催
- ◇ 第 3 期 iCD (i コンピテンシ・ディクショナリ) 活用ワークショップを開催
- ◇ データサイエンティストの定義及び育成プログラムを公表
- ◇ 「モバイルアプリケーション開発技術最新動向」報告を会員限定で公開
- ◇ 経営力向上を目的としたセミナーの実施 (6 回、延べ 131 社 158 名の参加)
- ◇ CEATEC JAPAN 2014 に「CSAJ ソフトウェア・イノベーション・プラザ」を展開
- ◇ 一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) と共同で設立した「情報システム取引者育成協議会」の活動として「情報システム取引者育成プログラム」を運営 (平成 22 年度からの受講者の累計は基礎講座 1,606 名、研修講座 746 名)
- ◇ 「経営者セミナー in 福島/会津若松」を会津若松市で開催 (29 社・団体/40 名が参加)
- ◇ パッケージソフトウェア品質 (PSQ) 認証事業は制度開始から累計で 19 社 24 製品を認証
- ◇ プライバシーマーク審査事業は、更新 56 社、新規 8 社の合計 64 社の審査を実施。目標達成率は 103.2%

II. 協会の会務

1. 定時総会

平成 26 年 6 月 11 日（水）、ホテルオークラにおいて、会長が議長となり、正会員総数 351 社のうち 263 社の出席（委任状出席含む）をもって開催されました。議事の内容は次の通りです。

【決議事項】

- 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告および決算報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 26 年度・27 年度 理事および監事の選任について
- 第 3 号議案 役員報酬規程および役員退職慰労金支給規程の一部改訂(案)承認の件
- 第 4 号議案 役員報酬の総額について

【報告事項】

- 1. 平成 26 年度事業計画および収支予算書について
 - 2. 平成 26 年度 CSAJ 役員功労賞受賞者発表
- http://www.csaj.jp/member/rijikai/14/h26_soukai_gijiroku.pdf

2. 理事会

平成 26 年度は、以下の通り 5 回の理事会（臨時含む）、2 回の持回理事会（書面審議）を開催しました。

○5 月理事会(於：トスラブ山王)

- 会期：平成 26 年 5 月 14 日（水） 出席理事：22 名 出席監事：2 名
- 議題：審議事項 1 平成 25 年度事業報告(案)・決算(案)について
審議事項 2 理事候補の追加推薦について
審議事項 3 役付理事候補の選定（会長・筆頭副会長・副会長・専務理事）
審議事項 4 役員報酬の総額について
審議事項 5 役員功労賞等の選定について
審議事項 6 6 月定時総会(6 月 11 日)の議題について
審議事項 7 新入会員承認の件（入退会状況報告含む）
- 報告事項 1 U-22 プログラミング・コンテスト進捗報告
報告事項 2 情報システム取引者育成プログラムについて
報告事項 3 その他

○6 月臨時理事会(於：ホテルオークラ)

- 会期：平成 26 年 6 月 11 日（水） 出席理事：32 名 出席監事 2 名
- 議題：審議事項 1 平成 26 年度 27 年度役付理事の互選について

○7 月持回理事会(書面審議)

- 会期：平成 26 年 7 月 23 日（水） 出席理事：36 名 出席監事 2 名
- 議題：審議事項 1 新入会員の承認の件
審議事項 2 JIS 原案作成委員会設置および委員長選任について

○9 月理事会(於：トスラブ山王)

- 会期：平成 26 年 9 月 10 日（水） 出席理事：28 名 出席監事 2 名
- 議題：報告事項 1 各委員会・研究会の活動経過報告
報告事項 2 情報化月間情報化促進貢献個人・企業表彰の推薦について
報告事項 3 その他
- 審議事項 1 新入会員承認の件（入退会状況報告含む）
審議事項 2 産業別高齢者雇用推進事業の入札参加について
審議事項 3 人材委員会／マネジメントタスク作成請負に関して
審議事項 4 他団体等の役員就任について
審議事項 5 委員会研究会の再編について

○11 月持回理事会(書面審議)

- 会期：平成 26 年 11 月 21 日（金） 出席理事：36 名 出席監事 2 名
- 議題：審議事項 1 新入会員の承認の件

○12 月理事会(於：トスラブ山王)

- 会期：平成 26 年 12 月 10 日（水） 出席理事：27 名 出席監事 2 名
- 議題：報告事項 1 平成 26 年度上期収支報告および年間収支予想について
報告事項 2 各委員会・研究会等の活動経過報告
報告事項 3 平成 27 年 1 月賀詞交歓会の開催について
報告事項 4 平成 27 年度年間スケジュールについて

- 報告事項 5 その他
- 審議事項 1 新入会員承認の件（入退会状況報告含む）
- 審議事項 2 新委員会・研究会の発足について
- 審議事項 3 CSAJ 主催認定試験事業に関して
- 審議事項 4 CSAJ の広報活動について
- 検討事項 1 QCon Tokyo 2015 の件への協力・参加について
- 検討事項 2 会員ニーズ調査結果報告と今後の協会活動に関する意見交換

○3月理事会(於：トスラブ山王)

会期：平成 27 年 3 月 11 日（水） 出席理事：30 名 出席監事 1 名

議題：検討事項 1 コードサインング事業(仮)の提案について

報告事項 1 技術委員会主催「若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修」
実施報告(ビデオ放映含む)

報告事項 2 その他

審議事項 1 新入会員承認の件（入退会状況報告含む）

審議事項 2 理事について

審議事項 3 定時総会の開催(6月10日)等について

審議事項 4 平成 27 年度事業計画・予算(案)について

審議事項 5 CSAJ スタートアップ支援事業実施に伴う「資産運用管理規程」第 4 条の
例外適用の承認について

※理事会の議事録は以下の Web からご参照いただけます。

<http://www.csaj.jp/NEWS/member/rijikai/index.html>

(会員専用ページのため、閲覧には ID/PW が必要になります。ID/PW は、毎月 1 日/15 日に配信している CSAJ NEWS でお知らせしています。)

3. 各種交流会・懇親会

人的交流およびビジネスチャンス拡大を目的に、以下の交流会等を企画実施致しました。

○総会懇親会

会期：平成 26 年 6 月 11 日（水）、会場：ホテルオークラ、参加者：338 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/14/140611_soukairepo.html

○会員交流会

会期：平成 26 年 9 月 10 日（水）、会場：トスラブ山王、参加者：118 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/14/14_nouryou/report.html

○賀詞交歓会

会期：平成 27 年 1 月 21 日（水）、会場：帝国ホテル、参加者：443 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/15/150121_gashirepo.html

4. 理事・監事・役員

平成 26 年 3 月 31 日現在

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 平成26年度 理事・監事 役員

(敬称略・役職別五十音順)

◆会長 (1名)

荻原 紀男 (株)豆蔵ホールディングス 代表取締役社長

◆筆頭副会長 (1名)

水谷 学 ピー・シー・エー(株) 代表取締役社長

◆副会長 (4名)

青野 慶久 サイボウズ(株) 代表取締役社長

田中 啓一 日本事務器(株) 代表取締役社長

豊田 崇克 ネクストウェア(株) 代表取締役社長

山本 祥之 (株)インテリジェント ウェイブ 代表取締役社長

◆名誉会長 理事 (1名)

和田 成史 (株)オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長

◆名誉顧問 理事 (1名)

襟川 恵子 (株)コーエーテクモホールディングス 代表取締役会長

◆専務理事 (1名)

前川 徹 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

◆理事 (27名)

五十木 正 (株)ワークスアプリケーションズ 執行役員

伊藤 裕二 (株)フォーラムエイト 代表取締役社長

大塚 裕司 (株)大塚商会 代表取締役社長

金成 葉子 (株)シー・シー・ダブル 代表取締役社長

木田 徳彦 (株)インフォテック・サーブ 代表取締役

北原 佳郎 ラクラス(株) 代表取締役社長

小屋 晋吾 トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当

齋藤 憲次 (株)内田洋行 取締役 専務執行役員 情報事業本部 本部長

佐藤 敏明 (株)BCN 取締役社長

杉本 淳一 (株)コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役

高間 徹 NTTコムウェア(株) 取締役 品質生産性技術本部長

瀧 進太郎 BBソフトサービス(株) 代表取締役社長

竹原 司 (株)デザイン・クリエイション 最高顧問

多田 敏男 TAC(株) 取締役副社長

田中 聡 (株)マイクロソフトウェア 代表取締役社長

張 佶 長城コンサルティング(株) 代表取締役社長

中道 泰隆 (株)リード・レックス 取締役執行役員

中村 憲司 (株)大和コンピューター 代表取締役

原 洋一 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 事務局長

板東 直樹 アップデートテクノロジー(株) 代表取締役社長

東尾 公彦 コナミ(株) 取締役

樋口 泰行 日本マイクロソフト(株) 代表執行役社長

藤井 洋一 日本ナレッジ(株) 代表取締役社長

宗像 義恵 インテル(株) 取締役副社長

村瀬 正典 (株)バース情報科学研究所 代表取締役社長

安延 申 SGシステム(株) 代表取締役社長

山田 正彦 (株)ワコム 代表取締役社長

◆監事 (2名)

平野 高志 ブレークモア法律事務所 弁護士

山田 隆明 山田隆明公認会計士事務所 公認会計士

(理事:36名、監事:2名)

平成 26 年度 CSAJ 活動分野別担当理事制

- CSAJ 全体 会長(代表理事)、 筆頭副会長 (代表理事)、 専務理事 (業務執行理事)
理事・事務局長
- 会長代行 筆頭副会長 (代表理事)、 副会長、 専務理事 (業務執行理事)
- 政策検討 総務委員会
(会長+筆頭副会長+副会長+専務理事+名誉会長+名誉顧問)

<各委員会担当>

- 政策委員会 ●荻原紀男会長
水谷学筆頭副会長
藤井洋一理事 (日本ナレッジ)
板東直樹理事 (アップデートテクノロジー)
平野高志監事 (ブレイクモア法律事務所)
山田隆明監事 (山田隆明公認会計士事務所)
- 法務・知財委員会 ●水谷学副会長 (ピー・シー・エー)
平野高志監事 (ブレイクモア法律事務所)
杉本淳一理事 (コスモ・コンピューティングシステム)
宗像義恵理事 (インテル)
樋口泰行理事 (日本マイクロソフト)
山田正彦理事 (ワコム)
- 人材委員会 ●山本祥之副会長 (インテリジェント ウェイブ)
金成葉子理事 (シー・シー・ダブル)
木田徳彦理事 (インフォテック・サーブ)
伊藤裕二理事 (フォーラムエイト)
中村憲司理事 (大和コンピューター)
多田敏男理事 (T A C)
- 国際委員会 ●青野慶久副会長 (サイボウズ)
豊田崇克副会長 (ネクストウェア)
竹原司理事 (デザイン・クリエイション)
五十木正理事 (ワークスアプリケーションズ)
張侖理事 (長城コンサルティング)
安延申理事 (S G システム)
村瀬正典理事 (バーズ情報科学研究所)
高間徹理事 (N T T コムウェア)
- 技術委員会 ●田中啓一副会長 (日本事務器)
山本祥之副会長 (インテリジェント ウェイブ)
小屋晋吾理事 (トレンドマイクロ)
瀧進太郎理事 (B B ソフトサービス)
- セキュリティ委員会 ●前川徹専務理事 (C S A J)
小屋晋吾理事 (トレンドマイクロ)
- ビジネス拡大委員会 ●豊田崇克副会長 (ネクストウェア)
荻原紀男会長
- 交流委員会 ●東尾公彦理事 (コナミ)
田中聰理事 (マイクロソフトウェア)
中道泰隆理事 (リード・レックス)
北原佳郎理事 (ラクラス)
佐藤敏明理事 (B C N)
大塚裕司理事 (大塚商会)
齋藤憲次理事 (内田洋行)
- 事業関係委員会 (P マーク) 前川徹専務理事 (C S A J)
(PSQ 認証) 藤井洋一理事 (日本ナレッジ)
(U-22 プロコン) 青野慶久副会長 (サイボウズ)

●=各分野におけるリーダー/平成 27 年 3 月現在

5. 会員の変動状況

平成 26 年度中の会員の変動は以下の通りです。

<平成26年度会員区分別会員数の増減>

| 会員区分 | 期首 会員数 | 期中 増減数 | 期末 会員数 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 正会員 | 351 | 5 | 356 |
| 特別賛助会員 | 2 | 0 | 2 |
| 一般賛助 | 32 | 3 | 35 |
| 行政会員 | 2 | 0 | 2 |
| 試験会場会員 | 12 | -3 | 9 |
| 年会費有料会員計 | 399 | 5 | 404 |

<平成26年度期中増減数の内訳>

| 新規入会 会員数 | 退会 会員数 |
|-------------|-----------|
| 32 | 27 |
| 0 | 0 |
| 5 | 2 |
| 0 | 0 |
| 0 | 3 |
| 37 | 32 |

| 準会員（無料）数 | 10 | 3 | 13 |
|----------|-----|---|-----|
| 総合計 | 409 | 8 | 417 |

| 23 | 20 |
|----|----|
| 60 | 52 |

○平成 26 年度期末の会員企業は以下の通り。☆印=平成 26 年度期中入会

<正会員 356 社（準会員からの移行会員含む）>

株式会社アークインターナショナル
 株式会社アート・システム
 株式会社アール・アイ
 アールテクニカ株式会社
 株式会社アールワークス
 株式会社アイキューブ
 株式会社アイソルート
 ☆株式会社社会津ラボ
 IT エージェント株式会社
 株式会社アイティーシー
 株式会社 IT 戦略研究所
 株式会社アイティーツリューション
 株式会社 ITCS
 アイティマークス株式会社
 アイビーシー株式会社
 株式会社アイブラザ
 株式会社アヴァンザ
 ACCEL JAPAN 株式会社
 ☆AXLBIT 株式会社
 株式会社アクティス
 ☆株式会社アズベイス
 株式会社アスペックス
 アップデートテクノロジー株式会社
 アテイン株式会社
 株式会社アドイン研究所
 アドビスシステムズ株式会社
 株式会社アバント
 有限会社あまくさ藍ネット
 株式会社アルゴグラフィックス
 株式会社アレクシード
 anbx 株式会社
 イアス株式会社
 EMC ジャパン株式会社
 イーディーコントロールイブ株式会社
 イクシアコミュニケーションズ株式会社
 株式会社井ロー世
 ☆石田データサービス株式会社
 株式会社イデアル
 イノバークス株式会社
 株式会社医療情報基盤
 彩葉ソリューションズ
 インヴェンティット株式会社
 株式会社インターコム
 株式会社インターフェュージョン・コンサルティング
 有限会社インディーロム
 株式会社インテリジェントウェイブ
 インテル株式会社

株式会社インフィニテック
 インフォグリーン株式会社
 株式会社インフォテック・サーブ
 株式会社インフォメッシュ
 株式会社インプレス
 株式会社ヴァル研究所
 ウィッツェル株式会社
 株式会社ヴィバーク
 株式会社ウェブアイ
 ☆株式会社ウェブインパクト
 株式会社ウエンズ
 株式会社ウチダ人材開発センタ
 株式会社内田洋行
 株式会社エイチアイ
 エイチスリーパートナーズ有限公司
 株式会社エイ・ピー・シー
 エーアンドエー株式会社
 株式会社エーエルジェイ
 株式会社 A-flat
 株式会社エクステンジコorporation
 株式会社エクセルシア
 株式会社 SRA
 株式会社エスアイ・システム
 株式会社 SE デザイン
 SCSK 株式会社
 SG システム株式会社
 株式会社エス・ディ・エス
 株式会社エスペシャリイ
 エヌ・ディー・アール株式会社
 エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
 ☆エヌ・デーソフトウェア株式会社
 株式会社 NBT-PRO
 エバ電子株式会社
 株式会社エフエーサービス
 エプソン販売株式会社
 株式会社エボルバビジネスサポート
 株式会社 MSC
 株式会社 MM 総研
 ☆エムオーテックス株式会社
 ☆M-SOLUTIONS 株式会社
 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
 株式会社エンカレッジ
 エンカレッジ・テクノロジー株式会社
 株式会社エンベックス
 応研株式会社
 オー・エイ・エス株式会社
 株式会社 OSK

- ☆株式会社オークニー
 - 株式会社大塚商会
 - 大野総合法律事務所
 - 株式会社オービックビジネスコンサルタント
 - 株式会社オープンストリーム
 - 株式会社オーランシステム
 - 株式会社オールアウトライフワークス
 - オデッセイヒューマンシステム株式会社
 - オレンジセキュアサービス株式会社
 - 税理士 笠原清明事務所
 - カシオ情報機器株式会社
 - 株式会社ギガプライズ
 - 株式会社きっとエイエスピー
 - キャノン IT ソリューションズ株式会社
 - 株式会社キューブマジック
- ☆株式会社クライル
 - 株式会社グリーンキャット
 - 株式会社クリックス
 - グリッド・リサーチ株式会社
 - 株式会社クレオソリューション
 - 株式会社クレオネットワークス
 - 株式会社クレオマーケティング
 - グローバルフレンドシップ株式会社
 - 株式会社グローバルワイズ
 - 株式会社クロスパワー
 - クロノス株式会社
 - 株式会社 K&K パワー
 - 経営創研株式会社
 - 株式会社ケーイーシー
 - 有限会社ケースメソッド
- ☆株式会社建設ドットウェブ
 - 株式会社神戸デジタル・ラボ
 - 株式会社コーエーテックモホールディングス
 - コガソフトウェア株式会社
 - 株式会社コスモ・コンピューティングシステム
 - コナミ株式会社
 - コムチュア株式会社
- ☆株式会社コラボスタイル
 - 株式会社コンピュータシステム研究所
 - コンピュータ・テクノロジー株式会社
 - CompTIA 日本支局
 - 株式会社サートプロ
 - 株式会社サイズ
- ☆株式会社サイダス
 - サイバーステーション株式会社
 - サイバートラスト株式会社
 - サイボウズ株式会社
- ☆さくらインターネット株式会社
 - 株式会社サンテック
 - 株式会社算法
 - 株式会社サンワ
 - サンワサプライ株式会社
 - 株式会社シー・アイ・エス
 - 株式会社シーアイシー
 - GVA 法律事務所
 - 株式会社 CAE ソリューションズ
- ☆株式会社シーエスデー
 - 株式会社ジークホールディングス
 - 株式会社シー・シー・ダブル
 - 株式会社シーピーユー
 - シェアクレスト株式会社
 - 株式会社ジェイ・ジェイ・エス
 - JB アドバンスド・テクノロジー株式会社
 - ジェネシス株式会社
 - シグマドリーム株式会社
 - システムアソシエイト株式会社
 - 株式会社システムエグゼ
 - 株式会社システムカルチャー
 - 株式会社システムコミュニケータ
 - 株式会社システムコンサルタント
- 株式会社システムシンク
- 株式会社システムズナカシマ
- 株式会社システムソリューションセンターとちぎ
- 株式会社システムディ
- 株式会社システム・テクノロジー・アイ
- 株式会社システム・プロデュース
- システムロード株式会社
- 株式会社シスパル
- 株式会社シビルソフト開発
- 株式会社シムコス
- 社会システム株式会社
- 株式会社社会情報サービス
- 株式会社ジャニス
- ジャパンシステム株式会社
- ジャパンラーニング株式会社
- 秀峰システム株式会社
- 首都圏ソフトウェア協同組合
- 株式会社正栄設計事務所
- ☆情報技術開発株式会社
 - 株式会社情報処理システム研究所
 - 新高和ソフトウェア株式会社
 - 株式会社新進商会
 - 株式会社新生技術開発研究所
 - 新日本有限責任監査法人
 - シンプレクス株式会社
 - 株式会社シンプレックス
 - 株式会社シンメトリクス
 - 杉浦技術士事務所
 - 株式会社スキルメイト
 - 株式会社スタートアッププラス
 - 株式会社スブライン・ネットワーク
 - 株式会社セールスフォース・ドットコム
 - ゼッタテクノロジー株式会社
- ☆センターフィールド株式会社
 - ゾイックス株式会社
- ☆創研情報株式会社
 - 株式会社ソフエル
 - 株式会社ソフトウェアクレイドル
 - ソフトバンクコマース&サービス株式会社
 - ソフトバンク・テクノロジー株式会社
 - ソリマチ株式会社
 - 株式会社ソリューション・アンド・テクノロジー
 - 株式会社ダイナックス
 - 株式会社大和コンピューター
 - ダイワボウ情報システム株式会社
 - 株式会社チェプロ
 - 長城コンサルティング株式会社
 - 株式会社 DHI
 - 株式会社ティ・エス・サービス
 - 株式会社デジタル
 - 株式会社データロジック
 - テクニカル情報システム株式会社
 - 株式会社デザイン・クリエイション
 - 株式会社デジタルコミュニケーションズ
 - 株式会社デジタルファクター
 - 株式会社鉄飛テクノロジー
 - 東京システムハウス株式会社
 - 東京ソフトウェア株式会社
- ☆株式会社東忠ソリューション
 - トワシステムサポート株式会社
 - 株式会社トップゲート
 - トライボッドワークス株式会社
 - 株式会社 TRADECREATE
 - トレンドマイクロ株式会社
 - 株式会社ナノオプト・メディア
 - 株式会社ナビット
 - 株式会社日経エージェンシー
 - 日研システム株式会社
 - 日通システム株式会社
 - 日本システム開発株式会社

日本事務器株式会社
ニフティ株式会社
☆日本 IQP 株式会社
日本アウダテックス株式会社
日本 S E 株式会社
日本オラクル株式会社
日本キスコ株式会社
株式会社日本健康産業
日本システムクリエイト株式会社
株式会社日本システムデザイン
日本スーパーマップ株式会社
株式会社 日本創芸教育
日本通信エレクトロニック株式会社
日本ティーマックスソフト株式会社
日本デジタルデザイン株式会社
日本ナレッジ株式会社
日本ビジネスシステムズ株式会社
☆日本フォーシーエス株式会社
日本マイクロソフト株式会社
ニューロネット株式会社
株式会社ネオジャパン
根岸事務所
ネクストウェア株式会社
株式会社ネクストエデュケーションシンク
ネクストキャディックス株式会社
☆株式会社ネットコム
ネットスイート株式会社
ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社
株式会社バース情報科学研究所
株式会社 Harness LLP
株式会社バイオス
ハインスソリューションズ株式会社
株式会社ハイパーテック
株式会社 BUZZ
株式会社パスカリア
株式会社バッファロー
☆株式会社バリューソフトウェア
株式会社バリュープランニング
有限会社バルシステム
株式会社ビーエスシー
PCI ソリューションズ株式会社
ピー・シー・エー株式会社
BB ソフトサービス株式会社
株式会社ビジネスアプリケーション
ビジネスメンター株式会社
株式会社日立ソリューションズ
ひばりネットシステム株式会社
株式会社ヒューネット
株式会社ヒューマンキャピタル研究所
☆ファイルフォース株式会社
ファイルメーカー株式会社
株式会社ファンプラス
フォーエム株式会社
フォーディーネットワーク株式会社
株式会社フォーラムエイト
☆株式会社フォスターネット
株式会社フォトハイウェイ・ジャパン
株式会社フォトロン
フォルテックス株式会社
株式会社富士通エフサス
富士通コミュニケーションサービス株式会社
株式会社富士通マーケティング

<特別賛助会員 2社>

日本電気株式会社

<一般賛助会員 35社>

一般社団法人 IT 検証産業協会

☆特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

一般財団法人インターネット協会

株式会社富士通ラーニングメディア
株式会社筆まめ
株式会社フュージョンアイ
☆FutureOne 株式会社
☆freee 株式会社
フリービット株式会社
株式会社ブルーボート
フルライン株式会社
ブレイクモア法律事務所
株式会社ブロードリーフ
税理士法人プログレス
☆株式会社プロシップ
☆株式会社プロスペックス
有限会社フロンティア・オンライン
ベース株式会社
株式会社 Hermes Corporation
弁護士法人漆間総合法律事務所
株式会社ホープクリエイト
株式会社ホープス
株式会社ボード
株式会社マイクロメイツ
マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
株式会社豆蔵ホールディングス
☆マルワソフト株式会社
株式会社ミクロス ソフトウェア
株式会社ミック
株式会社ミップス
株式会社ミモザ情報システム
ミラクル・リナックス株式会社
株式会社ミログ情報サービス
株式会社メディアシーク
株式会社メディア・ソリューション
メディアドライブ株式会社
株式会社メディアミックス
山田隆明公認会計士事務所
弥生株式会社
株式会社 USTAGE
ユニオンソフト株式会社
有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研
究所
株式会社ユラス
株式会社横浜ドキュメントデザイン
ラクラス株式会社
☆株式会社ラック
株式会社ラナップ
有限会社リープコーポレーション
株式会社理経
リコー IT ソリューションズ株式会社
リコージャパン株式会社
リスクモンスター株式会社
株式会社リメディア
株式会社ルートプロ
株式会社レジェンドアプリケーションズ
ロック・ストアハウス株式会社
株式会社ワークスアプリケーションズ
株式会社ワークスビジネスサービス
ワークブレイン・ジャパン株式会社
株式会社ワイズ・マーケティング
Y's ラーニング株式会社
株式会社ワコム
ワンビ株式会社

富士通株式会社

関東 IT ソフトウェア健康保険組合

関東 IT ソフトウェア厚生年金基金

公益社団法人企業情報化協会

キャピタル・パートナーズ証券株式会社
一般社団法人組込みシステム技術協会
公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会
特定非営利活動法人札幌ビズカフェ
公益財団法人しまね産業振興財団
一般社団法人情報機器リユース・リサイクル協会
一般社団法人情報サービス産業協会
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
全国商工会連合会
☆全国ソフトウェア協同組合連合会
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人ソフトウェア資産管理評価認定協会
一般財団法人ソフトウェア情報センター
TAC株式会社
☆一般社団法人テレコムサービス協会

<行政（賛助）会員 2社>
北海道 北見市

<試験会場（賛助）会員 9社>
株式会社アスク
株式会社シーキューブ
ゼネラルエンジニアリング株式会社
株式会社ソフトキャンパス
株式会社ナガセPCスクール

<準会員 13社>
アクセルユニバース株式会社
株式会社ヴィグラクリエーション
株式会社ウィッツテクノロジー
株式会社Qt
グラビス・アーキテクト株式会社
株式会社ストラトリソーズ
株式会社セカンド・サイド

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会
☆特定非営利活動法人日本情報技術取引所
☆一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会
一般社団法人日本ソフトウェア産業協会
一般社団法人日本テレワーク協会
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会
一般財団法人日本パソコンスクール協会
野村証券株式会社
株式会社BCN
社会福祉法人プロップ・ステーション
一般社団法人北海道IT推進協会
三菱UFJ信託銀行株式会社
一般社団法人みんなのクラウド
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

和歌山県

株式会社日本ライセンスバンク
ピーシーアシスト株式会社
ヒューマンアカデミー株式会社
株式会社マチス教育システム

T3 Japan 株式会社
バレットグループ株式会社
ピコテクノロジー株式会社
フォーザウィン株式会社
株式会社楽堂
株式会社ランドワークス

Ⅲ. 委員会・研究会活動

6 月定時総会で着任された荻原新会長の協会活動方針に基づき、理事会での検討を踏まえ、委員会・研究会が再編され、平成 26 年度は、3 委員会および 3 研究会が新設され、次の通り活動を行いました。

1. 総務委員会

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

平成 26 年 6 月 11 日の定時総会での役員改選による会長交代に伴い、委員長は荻原会長に引き継がれ、理事会への建議事項等を確認するとともに、会員拡大に向けた施策などを含む協会全体の運営に関わる基本問題等を検討しました。主な検討事項は以下の通りです。

- ・平成 26 年の役員功労賞等への推薦について
平成 26 年 6 月総会で任期満了となり理事を退任された木下仁氏（理事歴 18 年）と宇野和彦氏（6 年）は、役員功労賞候補として理事会に推薦され、総会後の授与式で表彰されました。
- ・和田成史会長（現名誉会長）の「平成 26 年春の藍綬褒章」受章について
経済産業省に藍綬褒章の候補者として推薦した和田成史会長（現名誉会長）は、その団体功績が認められ、「平成 26 年春の藍綬褒章」を受章され、CSAJ も栄典団体として認められました。また、荻原紀男会長他理事メンバーが発起人となり、平成 26 年 7 月 14 日に祝賀会を開催しました。
- ・新会長の方針に伴う委員会・研究会等の見直しについて
- ・平成 27 年の叙勲/褒章等への推薦について
- ・情報化月間情報化促進貢献企業等の推薦について
- ・認定試験事業および一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)との関わりについて
- ・CEATEC JAPAN 企画 WG の設置について
- ・IPA/CSAJ 幹部による意見交換会(7 月 15 日)の開催について
- ・経済産業省商務情報政策局情報処理振興課と CSAJ の定例会の開催について

●理事候補選定準備会

委員長：和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）

平成 26 年度の理事改選に伴い、理事・監事の選定方法や理事・監事の選定基準等の確認を行い、理事・監事候補者を選定し、総務委員会、理事会、総会へ推薦しました。

●試験関係検討 WG

- 一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)と CSAJ の幹部ミーティングが行われ、会計ソフト実務能力試験については、これまでの実績を鑑み、当初の目的を達成したと判断し、平成 27 年度の実施をもって試験制度を終了することを決定しました。また、CAD 利用技術者試験に関しては、平成 28 年度より ACSP に試験制度を譲渡することを決定しました。
- 会計ソフト実務能力試験の受験者拡大等に向けた「会計ソフト試験検討 WG」を開催し、今後の方向性について意見交換を行いました。

●企画 WG

「CEATEC JAPAN 企画 WG」を設置し、ソフトウェア業界の活性化を図るべく、ソフトウェア業界をアピールするための「情報発信の場」として CEATEC JAPAN 2014 会場内にソフトウェアゾーン「CSAJ ソフトウェア・イノベーション・プラザ」を企画・実施しました。（詳細は後述の「CEATEC JAPAN 2014 関連業務」参照）

●スタートアップアクセラレータ WG

リーダー：和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つ CSAJ の特色を生かし、今後、排出される有能な IT 関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJ スタートアップ支援事業」の実施について検討を行いました。また、経済産業省が公募した平成 26 年度補正予算事業「先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業（IT ベンチャーのスタートアップ促進事業）」に受託候補団体として申請し、採択されたことから、本事業と連携し実施すべくその準備を行いました。なお、CSAJ のスタートアップ支援事業は、平成 27 年度より実施を予定しています。

1-1. CSAJ 設立 30 周年記念事業実行委員会（平成 26 年度新設）

委員長：竹原 司（㈱デザイン・クリエイション 最高顧問）

当協会は、1986年(昭和61年)2月19日に、当時の通商産業省(現経済産業省)の社団法人設立認可を受け、30年目を迎える2015年度中に30周年記念事業を企画・実施するため、委員会を組織し具体的な検討を行いました。

<主な検討内容>

- ・平成27年度は年間を通した30周年事業を検討し、平成27年度内に開催するセミナー等に「設立30周年」の冠をつけて実施
- ・記念特別講演・パーティの開催日変更の確認(2016年1月賀詞交歓会で開催)
- ・特別講演講師やイベントの内容の検討
- ・記念冊子の発行および記念パーティで進呈する記念品等を検討

2. 政策委員会

委員長：荻原 紀男(株)豆蔵ホールディングス 代表取締役社長)

副委員長：水谷 学 (ピー・シー・エー(株) 代表取締役社長)

○委員会にて、経済産業省施策に関する意見交換会を実施しました。

○下部組織の「IT政策勉強会」にて、政府与党と政策に係る意見交換会を実施しました〔2回〕。

○国を挙げてサイバーディフェンスリーグを構築しているエストニアへの視察ツアーを実施しました。

- ・平成26年12月14日(日)～18日(木) <参加13社13名>

報告書 http://www.csaj.jp/publish/h26/141214_estonia.pdf

○ソフトウェア品質に係る第三者認証の重要性について、厚生労働省と意見交換会を実施しました。

○マイナンバー制度について、政府与党と意見交換を実施〔2回〕。本件については、意見集約のためのワーキンググループ(番号制度WG/主査：水谷学〔ピー・シー・エー(株) 代表取締役社長〕、副主査：岡本浩一郎〔弥生(株) 代表取締役〕)を設置〔5回開催〕し、とりまとめた意見を関係各所へ申し入れました。また、会員周知のための説明会も企画・実施しました。

- ・マイナンバー関連セミナー〔参加23社35名〕
緊急開催<マイナンバー施行に向けた対応>
民間企業における番号法の実務上の影響について
- ・マイナンバー関連セミナー〔参加51社89名〕
マイナンバーと情報処理システム ～ 今我々は何をすべきか ～
- ・特定個人情報保護委員会へ要望書提出〔2回〕

提出要望 http://www.csaj.jp/info/14/140916_bangoseido_yobo.pdf

提出要望 http://www.csaj.jp/info/14/141002_bangoseido_yobo.pdf

- ・「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン(事業者編)(案)」(本文、別添及び別冊による構成)に関するパブリックコメントへの意見提出

提出意見 http://www.csaj.jp/publish/h26/141107_privacy.pdf

○政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン(案)に関する意見照会及びパブリックコメントへの意見提出を行いました。

提出意見 http://www.csaj.jp/info/14/140904_gpguide.pdf

○厚生労働省とソフトウェアベンダによる意見交換会を実施しました。主な要望は以下の通り。

- ・情報公開時期の早期化(API公開情報、移行スケジュール、用紙変更情報など)
- ・仕様の統一(紙、磁気媒体、eGovによる提出の仕様統一)
- ・社会保険・労働関連に関する問い合わせ専用窓口の設置
- ・制度公表から施行までの期間の配慮(業務システム対応やテスト期間への考慮)

○オンライン利用に関して、厚生労働省からの照会に基づき、意見交換会を実施しました。

○IT関連団体が集まり、今後の活動協力等を検討するIT連絡会を実施しました。〔2回〕

2-1. 消費税問題研究会(平成26年度で研究会は終了)

主査：石井 茂(ソフトバンクBB(株) 財務本部 経理統括部 主計部 兼 BB 経理部 担当部長)

消費税率引上げに伴う実態を把握するためのアンケート調査項目の検討を行い、アンケート調査を実施。なお、意見交換・検討は、サイボウズLive上で行いました。

- ・アンケート調査項目の検討・実施

「保守サポートの提供に関する消費税率引上げに関するアンケートご協力のおかげ」

実施期間：平成26年7月24日(木)～平成26年8月8日(金)、回答数：30件

2-2. 経営力向上研究会

主査：松倉 泉(Harness 有限責任事業組合 理事長)

経営力向上の一助となるセミナーを研究会〔6回開催〕で企画・検討し、実施しました。

○実施セミナー概要及び結果

- ・第6回セミナー[参加 30 社 39 名]
技術者派遣の進むべき道！～勝ち残るための派遣法攻略と選ばれる会社づくり～
 - 派遣法改正の先に見えるもの
 - 派遣法改正をにらみ一般労働者派遣事業許可を取得した背景と理由
 - 今、やらなければいけない 10 の戦略(選択肢)とは？
- ・第7回セミナー[参加 14 社 14 名]
IT 事業成功の秘訣はココにあった！～ お金のプロが本音で語る！利益増戦略 7 つのポイント ～
 - ひそかに公開、選ばれる会社に変身する黄金ルール！
- ・第8回セミナー[参加 37 社 44 名]
会社を永続させる為には！～勝ち残るために、生物学から学ぶ秘訣～
 - 政府の IT 戦略を読み解く鍵
 - 生物に学ぶ — IT と生き残り戦略 —
- ・第9回セミナー[参加 20 社 24 名]
CSAJ 萩原新会長による ～ 上場させることと、上場すること ～
- ・第10回セミナー[参加 15 社 17 名]
経営理念を浸透させ、結果につなげる方法
- ・第11回セミナー[参加 15 社 20 名]
人財の採用と育成に、王道はある？～採用はマーケティング、育成は科学～
 - 採用の最新動向：他社と差別化できていますか？
 - 戦略的・効果的な IT 人材育成の仕組みづくり

3. 法務・知財委員会

委員長：水谷 学（ピー・シー・エー(株) 代表取締役社長）

副委員長：平野 高志（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

副委員長：杉本 淳一（(株)コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

副委員長：杉原 佳堯（インテル(株) 法務・渉外統括本部 渉外 兼 政府渉外 部長）

○委員長交代に伴い、今後の法務・知財委員会 活動の方向性に関して討議を行いました。

○IT 企業の法務・知財に影響のあるテーマをピックアップして、座談会形式で、考察・意見交換・情報共有を行いました。

○各回において、法務知財の旬な話題（法改正動向や裁判事例など）について情報提供を行いました。

○実施座談会概要及び結果

- ・第7回座談会[参加 14 社 17 名]
APEC 越境プライバシールールシステムへの参加とグローバルにおける個人情報の取扱い
 - 日本国政府の APEC 越境プライバシールールシステムへの参加について (METI)
 - 組織における内部不正防止ガイドラインについて (IPA)終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/140529_houmu.html
- ・第8回座談会[参加 25 社 32 名]
マイナンバー制度の導入とそのインパクト (EY 総合研究所株式会社)
終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/140724_houmu.html
- ・第9回座談会[参加 17 社 20 名]
個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドラインの改訂案について (METI)
終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/141023_legal.html
- ・第10回座談会[参加 12 社 14 名]
ソーシャルメディアとリスクマネジメント及び個人情報漏洩問題を考える
 - ソーシャルメディアとリスクマネジメント (エルティ総合法律事務所)
 - ベネッセ問題を契機に漏えい問題の構造的本質論再考 (エルティ総合法律事務所)終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/141204_legal.html
- ・第11回座談会[参加 12 社 13 名]
注目したい最近の法制度動向
終了報告 http://www.csaj.jp/info/15/150123_legal.html
- ・第12回座談会[参加 12 社 16 名]
パワハラ・セクハラ の最新動向と対策
終了報告 http://www.csaj.jp/info/15/150326_legal.html

4. 人材委員会

委員長：山本 祥之（㈱インテリジェント ウェイブ 代表取締役社長）

副委員長：宇野 和彦（㈱スキルメイト 代表取締役）

副委員長：木田 徳彦（㈱インフォテック・サーブ 代表取締役）

国の施策を鑑み、次世代高度 IT 人材育成（IT 融合人材に改称）を主なテーマに、IT 業界が求める人物像やその育成方法について、情報収集および意見交換を行いました。

- ・人材育成研究会（iCD 活用ワークショップ、マネジメントタスク作成 WG 含む）、データサイエンティスト育成研究会、メンタルヘルス研究会の活動報告
- ・国・IPA の人材に関する活動（産業構造審議会情報経済小委員会 IT 人材 WG、スキル標準促進協議会、高度 IT 人材育成産学連絡会）について
- ・IT 人材白書（パッケージソフト、SaaS ベンダーアンケート）協力について
- ・情報処理技術者試験協力について

4-1. 人材育成研究会

主査：宇野 和彦（㈱スキルメイト 代表取締役）

人材育成研究会の主要活動として、各 WG の活動に関する情報の共有化と付随する研修（社会人基礎力講座など）を実施。また、人材育成手法に関する情報共有化や米国 ASTD 視察、ITPEC 推進と東南アジアに於ける IT 技術者育成などの活動を行いました。

- ・平成 26 年 5 月 02 日(木)～5 月 09 日(木)（米国 IT 人材育成視察ツアー実施）
- ・平成 26 年 9 月 10 日(水) IPA 主催「時代を切り拓く新しいスキル標準体系」セミナーにて木田理事講演。
- ・iCD(i コンピテンシ・ディクショナリ)WG で iCD 普及活動の推進のためにワークショップを実施し、実施報告書を公開したほか、コミュニティとして過去の参加企業の導入状況などを確認し意見交換を実施。

iCD 活用ワークショップ実施報告書（2014 年度第 3 期）

http://www.csaj.jp/publish/h26/150323_dscientist.pdf

平成 27 年 1 月 28 日「第 3 期 iCD 活用ワークショップ実施報告会」（12 社 16 名参加）

- ・i コンピテンシ・ディクショナリ マネジメントタスク作成 WG
iCD におけるマネジメントタスクの作成をスキル標準ユーザー協会（SSUG）より受託し、3 月 26 日に納品。
- ・グローバル人材育成 WG でグローバル人材育成講座（産学連携による講座の展開）を開催。

4-2. データサイエンティスト育成研究会

主査：昆 凡子（㈱シムコス 会長）

平成 25 年度の成果を基に IT 業界視点で捉えたデータサイエンティスト育成のための教育プログラムの開発を目指す。「DS 知識習得スキル養成詳細枠組みの設計開発」、「データ活用プランニング詳細枠組みの設計開発」、「各最適化詳細枠組みの設計開発およびツールの開発（事例集を含む）」の 3 つのワーキンググループにわかれ、報告書を完成。平成 26 年度末を以って活動を終了しました。

- ・平成 26 年 5 月 12 日ニュースリリース「コンピュータソフトウェア協会、データサイエンティストの定義を公表」を配信。
- ・平成 26 年 10 月 8 日 CEATEC「CSAJ ソフトウェア・イノベーション・プラザ」プレゼンテーション実施。
- ・平成 27 年 3 月 23 日ニュースリリース「コンピュータソフトウェア協会、データサイエンティスト育成プログラムを公表」を配信。
- ・平成 26 年度データサイエンティスト育成研究会報告書公開
http://www.csaj.jp/publish/h26/150323_dscientist.pdf

4-3. メンタルヘルス研究会（平成 26 年度新設）

主査：金成 葉子（㈱シー・シー・ダブル 代表取締役社長）

メンタルヘルスの最新情報を共有し、担当者が多角的視点を身に付け、職場復帰支援や予防策等のテーマを取り上げ検討することで、メンタルヘルス取組支援のための問題解決のヒントを探しました。平成 26 年度は会員企業を対象としたメンタルヘルスに関するアンケートを実施したほか、厚生労働省から担当者を招いてのメンタルヘルス情報提供セミナーを実施しました。

- ・平成 27 年 1 月 19 日情報提供セミナー開催

5. 国際委員会

委員長：青野 慶久（サイボウズ㈱ 代表取締役社長）

副委員長：豊田 崇克（ネクストウェア㈱ 代表取締役社長）

国内外の関係団体等とのタイアップも含め、ソフトウェア産業のグローバル化に向けた各種情報提供および情報交換を行いました。

- ・会員の国際展開について調査および実際に国際展開をしている会員企業からの情報収集
- ・平成 26 年 10 月 23 日(木)台湾中華民国情報サービス産業協会(CISA)との意見交換会

参加者：台湾側 12 名、CSAJ 側 13 名

開催報告 http://www.csaj.jp/info/14/141023_cisa.html

- ・平成 27 年 02 月 10 日(火)フィリピン貿易産業省次官との面談

参加者：フィリピン側 5 名、CSAJ 側 5 名

5-1. アジアビジネス研究会

主査：竹原 司（㈱デザイン・クリエイション 最高顧問）

アジア地域での IT 市場の状況を調査・研究し、日本の IT ビジネスのアジア展開に関する知見を深め、実ビジネスに結び付く各種活動を行いました。

- ・平成 26 年 04 月 20 日(日)～04 月 25 日(金) 米国シリコンバレー視察ツアー実施

報告書：http://www.csaj.jp/publish/h26/140420_svalley.pdf

- ・平成 26 年 06 月 05 日(木)～06 月 06 日(金) 日台 IT ビジネスアライアンス交流会への参加

- ・平成 26 年 11 月 02 日(日)～11 月 08 日(土) フィリピン・インドネシア視察ツアー実施

報告書：http://www.csaj.jp/publish/h26/141102_phlidn.pdf

- ・研究会主催セミナー開催

平成 26 年 09 月 29 日(月) フィリピン／インドネシアセミナー

平成 27 年 02 月 25 日(水) 米国シリコンバレーの現状及びアジアでの販路開拓について

6. 技術委員会

委員長：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

副委員長：山本 祥之（㈱インテリジェント ウェイブ 代表取締役社長）

副委員長：小屋 晋吾（トレンドマイクロ㈱ 執行役員 統合政策担当）

副委員長：瀧 進太郎（BBソフトサービス㈱ 代表取締役社長）

5 回の委員会を開催し、IT 技術の最新動向に関するセミナーや会員企業の若手技術者を対象とした海外研修などを企画実施しました。また、アプリケーション開発手法に関する情報配信企画として、アジャイル開発をテーマとして説明会、研修講座を実施しました。活動内容は以下の通りです。

◇セミナー企画

- ・IoT (Internet of Things) が実現する世界～ 全てがつながる未来で求められるアプリケーションの在り方とは～ [参加 91 名]
- ・Android Wear アプリ開発指南 ～ウェアラブルデバイスがもたらすデザインとテクノロジーの融合～ [参加 40 名]
- ・IoT のセキュリティ脅威と今後の動向 (JNSA コラボレーション企画) [参加 164 名]
(CEATEC JAPAN 2014 企画カンファレンス内)

◇海外研修企画

- ・若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修
会期：平成 26 年 11 月 30 日(日)～12 月 7 日(日) 6 泊 8 日 [参加 5 社 17 名] (男性 11 名：女性 6 名)
- ・壮行会 [参加 16 名]
- ・プレゼンテーション報告会 [プレゼン 17 名、聴講 12 名]
終了報告：<http://www.csaj.jp/NEWS/committee/technical/150403.html>

◇アジャイル開発研修企画

- ・オープニングセミナー
アジャイル開発を学ぶ-基本編-～いまさら聞けないアジャイル開発の基礎と今～ [参加 30 名]
- ・有料研修講座<全 6 回>
アジャイル開発を学ぶ-実践編- ～アジャイル開発の基礎を学べる研修講座～
第 1 回 アジャイル入門 [参加 19 名]
第 2 回 プロジェクトの始め方 [参加 20 名]

- 第3回 見積りと計画づくり[参加 19名]
- 第4回 イテレーションの過ごし方[参加 18名]
- 第5回 エンジニアリング (TDD など) の話[参加 19名]
- 第6回 ふりかえり[参加 19名]
- 終了報告:http://www.csaj.jp/info/15/150304_agile.html

6-1. モバイルソリューション研究会

主査：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

モバイルデバイス関連技術の最新動向に関するセミナー/説明会/勉強会を以下の通り開催しました。また、アプリケーション開発プラットフォーム（クロスプラットフォーム開発技術を含む）の試用環境の提供（技術者対象）を開始しました。活動内容は以下の通りです。

- 第1回研究会 CEATEC JAPAN 2014 企画カンファレンステーマ検討
- 第2回研究会 CEATEC JAPAN 2014 企画カンファレンステーマ及び講師承認
- 第3回研究会 Firefox OS 説明会実施
- 第4回研究会 CEATEC JAPAN 2014 企画カンファレンス報告事項取りまとめ
- 第5回研究会 CEATEC JAPAN 2014 企画カンファレンス方向事項承認
- 第6回研究会 HTML5 開発最前線セミナー実施
- 第7回研究会 アプリ開発環境 Monaca セミナー実施
- 第8回研究会 エンプラアプリ UX セミナー実施

◇モバイルアプリケーション開発技術最新動向調査

CEATEC JAPAN 2014 のカンファレンス枠を利用して、最新技術動向について企画～実施し、研究会メンバーによる各講演の補足資料を作成しました。会員限定コンテンツを含む情報を公開しております。（詳細は後述の「CEATEC JAPAN 2014 関連業務」を参照）

報告 HP：http://www.csaj.jp/info/14/141008_mobilerepo.html

◇セミナー企画

- ・Firefox OS 説明会 ～Web 標準技術で実現される最新プラットフォームを学ぶ～ [参加 30名]
終了報告：http://www.csaj.jp/info/14/140826_firefox.html
- ・HTML5 開発最前線～html5j 新代表の吉川徹氏が HTML5 の今を語る～ [参加 35名]
終了報告：http://www.csaj.jp/info/14/141212_html5.html
- ・触れて学ぶモバイルアプリ開発 - Monaca - ～「お試し開発環境」ではじめる HTML5 アプリ開発ツール～ [参加 31名]
終了報告：http://www.csaj.jp/info/15/150203_monaca.html
- ・エンタープライズアプリ UX 解説～アプリケーションの使いやすさを実現する改善手法を学ぶ～ [参加 35名]
終了報告：http://www.csaj.jp/info/15/150305_e-ux.html

◇モバイルアプリ開発のための試用開発環境の提供活動

研究会メンバー企業より若手エンジニアをモデレータに据え、モバイルアプリ開発のための様々な開発環境をハンズオンで提供するなど、エンジニアが新技術を学ぶ場を設けました。

名称：お試し開発環境、第1弾コンテンツ：Monaca、登録サイト：<http://goo.gl/1kqQZY>

◇技術者向け情報のキュレーションサービス

会員企業へのモバイル関連情報提供を目的に、研究会メンバーが SNS を採用し情報ポストを行うキュレーションサービスの構築を目指し、研究会内で試験運用を行いました。

7. セキュリティ委員会（平成 26 年度新設）

委員長：前川 徹（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 専務理事）

副委員長：小屋 晋吾（トレンドマイクロ㈱ 執行役員 統合政策担当）

来る 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、エストニアのサイバーディフェンスリーグを参考にしつつ、必要とされるサイバーセキュリティ人材に求められる要素の洗い出しや産官学による育成施策の検討を始めました。また、企業のワークスタイルに合わせた BYOD 対応やアプリケーションリリース時のセキュリティ対策ガイドライン策定などを検討するワーキンググループを翌年度より設置するための事前調査・活動を行いました。

7-1. セキュリティ (BYOD) 研究会

主査：小屋 晋吾（トレンドマイクロ㈱ 執行役員 統合政策担当）

BYOD に係る優位性や危険性の現状について、iOS コンソーシアムにも協力いただき、覆面座談会形式で IT 関連のベンダ、ユーザ、人事系コンサルタント等を招集して行った議論の結果を、実施報告

書としてまとめました。また、平成 25 年度に公表した BYOD サンプル規程の改訂について検討を行いました。〔4 回開催〕

- ニュースリリース「BYOD を上手に利用するために情シスと人事の連携が不可欠
覆面座談会から見た方向性をとりまとめ」

http://www.csaj.jp/documents/activity/support/sample/byod/release/140806_csajrelease.pdf

- 実施報告書「BYOD 覆面座談会実施報告書 BYOD で拓く企業の未来」

http://www.csaj.jp/documents/activity/support/sample/byod/talk/140806_byod.pdf

※セキュリティ (BYOD) 研究会は平成 26 年度で終了し、平成 27 年度以降は、セキュリティ委員会内の WG として活動予定

8. ビジネス拡大委員会 (平成 26 年度新設)

委員長 : 豊田 崇克 (ネクストウェア(株) 代表取締役社長)

副委員長: 荻原 紀男 (株豆蔵ホールディングス 代表取締役社長)

会員企業のビジネス拡大を目的に平成 26 年 10 月に設立し、以降、BCN 等メディアとの連携を図りながら各研究会活動への取材誘致を行う、分野別の有識者・学識経験者等とのコネクションを模索し CSAJ のオーソリティ(権威者)として情報発信する、等さまざまな企画から積極的な情報発信を実施する方策が挙げられました。

8-1. クラウドビジネス研究会

主査: 松田 利夫 (株きつとエイエスピー 代表取締役社長)

クラウドビジネスへの取り組みについて、情報共有・意見交換を行ったほか、クラウドを体験したことがないユーザへ研究会メンバーのソリューションを体験できる機会を提供する目的で、交流 WG が企画したクラウドハンズオンセミナーを開催しました。また、札幌商工会議所情報部会のメンバーがクラウド関係のイベント見学のために上京した際に、当研究会と意見交換を実施しました。クラウドコンピューティング事業との関連性のある職場意識改善助成金の必要を検討するとともに、日本テレワーク協会の「テレワーク推進賞」受賞企業を招いての「受賞企業が語るテレワークによるワークスタイル変革」セミナーを開催しました。

- ・平成 26 年 6 月 17 日 第 1 回クラウドハンズオンセミナー開催 (参加 13 社 14 名)
- ・平成 26 年 6 月 25 日 第 2 回クラウドハンズオンセミナー開催 (参加 9 社 9 名)
- ・平成 26 年 10 月 15 日 札幌商工会議所意見交換会
- ・平成 27 年 3 月 10 日 テレワークセミナー開催 (参加 23 社 28 名)

8-2. ビッグデータ・オープンデータ活用研究会

主査: 江端 俊昭 (ワークブレイン・ジャパン(株) 管理本部長)

ビッグデータ・オープンデータの活用に関する基本知識、情報の共有を行うとともに、実証実験の一環として、具体的なデータの収集及び分析に向けた処理手順等について検討を行ったほか、実証実験に向けた具体的なデータ処理手順についての協議を実施しました。

8-3. ビジネスマッチング研究会 (平成 26 年度新設)

主査: 安田 敦 (株バリューソフトウェア 取締役)

平成 26 年 12 月の設立以降、日本情報技術取引所 (JIET) の活動内容を踏まえ、JIET と共催によるビジネスマッチング商談会 (仮) の開催を検討しました。また、今後は両団体で情報共有できる Web サイト構築についても検討してまいります。

8-4. 中小建設業・設備業 IT 推進研究会 (平成 26 年度新設)

主査: 橋本 幸夫 (株システムズナカシマ 専務取締役)

中小建設業・設備業のユーザ企業 2 社を訪問し、同業界の IT 化の現状を把握するとともに、課題について検討しました。今後は、業界の実態を調査すると共に、IT 投資による効果を訴求できるような仕組みについて見直しを行い、クラウドやモバイルを活用した業務の効率化や、各システム間のデータが連携できるような仕組みの確立を目指します。

9. 交流委員会 (平成 26 年度新設)

委員長 : 東尾 公彦 (コナミ(株) 取締役)

副委員長: 田中 聡 (株ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長)

副委員長: 中道 泰隆 (株リード・レックス 取締役執行役員)

9 月理事会で委員会を新設し、その後会員同士の交流の場として、会員交流会、経営者セミナー、CSAJ 会長杯親睦会を企画、実施しました。主な活動は以下の通り。

○会員交流会

会期：平成 26 年 9 月 10 日（水）、会場：トスラブ山王、参加者：118 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/14/14_nouryou/report.html

○経営者セミナー〔福島・会津若松〕

会期：平成 26 年 10 月 24 日（木）～25 日（金）

参加：29 社・団体／40 名（CSAJ 側、会津若松市側の参加者合計）

終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/141024_aizuwakamatsurepo.html

○第 1 回 CSAJ 会長杯親睦会（小田急藤沢ゴルフクラブ）

会期：平成 26 年 11 月 30 日（日）、参加：31 名

終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/141130_presidentcup.html

9-1. アライアンスビジネス交流会

リーダー：田中 聡（株）ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長）

サブリーダー：中道 泰隆（株）リード・レックス 取締役執行役員）

9 月理事会でアライアンスビジネス委員会は交流委員会の活動の一つとして位置づけられ、アライアンスビジネス委員は交流委員会の委員となりました。アライアンスビジネス交流会については、IT 企業にアライアンスの場を提供するビジネスマッチングの場として、以下の通り開催しました。〔全 6 回〕

| 開催日時 | 特別講演&プレゼンテーション企業 | 参加 | 協力・合同 |
|-------------------------------------|--|------|------------------------|
| 平成 26 年 04 月 23 日（水） 15:00～18:00 | 特別講演：株式会社セールスフォース・ドットコム 株式会社オークニー、株式会社レッティ | 23 名 | セールス フォース・ ドットコム |
| 平成 26 年 06 月 18 日（水） 14:00～18:00 | 特別講演：ブレイクモア法律事務所 WBO 株式会社、ワークブレイン・ジャパン株式会社 | 24 名 | |
| 平成 26 年 07 月 16 日（水） 14:00～18:00 | 特別講演：ニフティ株式会社 株式会社 L is B、ファイルフォース株式会社 | 34 名 | ニフティ |
| 平成 26 年 09 月 24 日（水） 15:15～19:00 | 特別講演：経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 スターティアラボ株式会社、株式会社ワコムアイティ、 日本キスコ株式会社、株式会社ネットワーク応用通信研究所 | 46 名 | しまね産業 振興財団 |
| 平成 26 年 11 月 26 日（水） 15:00～19:00 | 特別講演 1：経済産業省 経済産業政策局 新規産業室 特別講演 2：サイバーエージェント・ベンチャーズ 株式会社ディーアールジェー、安川情報エンベデッド株式会 社、カシオ情報機器株式会社、株式会社ユビキタス | 48 名 | 組込み システム 技術協会 |
| 平成 27 年 02 月 26 日（水） 15:00～19:00 | 特別講演：サイボウズ株式会社 富士通ミドルウェア株式会社、日本オプロ株式会社 株式会社アイティーフィット、株式会社レキサス | 35 名 | |

10. その他、研究会の募集

平成 26 年度も継続して新たな研究会の活動テーマを募集し、上記の通り 3 つの研究会が会員企業自らの提案で立ち上がり、活動を実施しました。

IV. 業界関連および会員支援活動等

1. 情報システム取引者育成協議会への協力

<外部委員会>契約検討委員会

委員長：板東 直樹（アップデートテクノロジー㈱ 代表取締役社長）

経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに作成されたモデル取引・契約書、重要事項説明書、ガイドライン等の普及推進を行うため、情報システム取引者育成協議会（主催：CSAJ・一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA））への活動協力を引き続き行いました。

<参考：平成 26 年度 情報システム取引者育成プログラム実施状況>

| 講座種類 | 実施回数 | 実施日 | 参加人数 |
|------|------|----------------------|------|
| 定例基礎 | 2 回 | 平成 26 年 07 月 10 日(木) | 3 名 |
| | | 平成 26 年 11 月 06 日(木) | 9 名 |
| 定例研修 | 1 回 | 平成 26 年 07 月 25 日(金) | 12 名 |

※平成 22 年開始時からの累計

基礎講座受講者総計 1,606 名、研修講座受講者総計 746 名<平成 26 年 11 月 11 日時点>

※5 月理事会でもご報告しました通り、これまで研修講座の活動に協力いただいていた TAC 株式会社を「認定教育機関」とし、既存の研修講座に替わる認定講座として、5 月より DVD を用いた通信講座を新たに開設予定。本講座（通信講座）の開設により、これまでリーチできていなかった全国の地域・企業への普及推進を目指します。

2. CEATEC JAPAN 2014 関連業務

CSAJ と一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）の 3 団体が主催する「CEATEC JAPAN 2014（第 15 回）」が、『NEXT 一夢を生みだし、未来を描け』をテーマに、10 月 7 日(火)～11 日(土)の 5 日間、幕張メッセにて開催されました。開催初日（10 月 7 日）には、荻原紀男会長の基調講演、10 月 8 日(水)にはサイボウズ青野慶久氏による NEXT イノベーションセッションの講演、技術委員会企画のコンファレンスを実施しました。

■CSAJ ソフトウェア・イノベーション・プラザ■

会期：10 月 7 日(火)～10 日(金) ※11 日(土)は開催せず

CEATEC の NEXT イノベーションプラザにおいて、株式会社豆蔵ホールディングス、株式会社オービックビジネスコンサルタントをメインスポンサーに、30 小間の「CSAJ ソフトウェア・イノベーション・プラザ」を展開し、会員 16 社の製品・技術を紹介しました。あわせて U-22 プログラミング・コンテストの結果発表や PSQ 認証制度コーナーも設置し、CSAJ の活動全体をアピールすることができました。会期を通じて 150,912 名（前年比 6.8%増）という来場者が訪れた本展示会において、CSAJ ブースにおいても約 1,600 名のお客様が訪れました。

3. U-22 プログラミング・コンテスト実施について

1) 実施経緯

これまで 34 年間にわたり「U-20 プログラミング・コンテスト」として経済産業省主催で開催されていたコンテストが、平成 26 年度より民間に移行する事になり、コンテスト主旨に賛同するスポンサー企業によって構成された実行委員会（委員長：青野 慶久（サイボウズ㈱代表取締役社長））が主催、CSAJ が事務局として実施しました。

なお、今回から応募資格を 20 歳以下から 22 歳以下に拡大し、名称を「U-22 プログラミング・コンテスト」に変更しています。

2) U-22 プログラミング・コンテスト 2014 開催概要

○応募要領

公式 Web サイト参照 <http://www.u22procon.com/pdf/procon2014-entry.pdf>

○協賛企業

- ・プラチナスポンサー
サイボウズ㈱
- ・ゴールドスポンサー
㈱オービックビジネスコンサルタント、首都圏コンピュータ技術者㈱、
日本事務器㈱、日本マイクロソフト㈱、ハンズラボ㈱、㈱豆蔵ホールディングス
- ・シルバースポンサー

- トレンドマイクロ(株)、ピー・シー・エー(株)
 ・ブロンズスポンサー
 (株)インテリジェント ウェイブ、(株)コーエーテクモホールディングス、
 (株)フォーラムエイト、ニフティ(株)、ネクストウェア(株)、LINE(株)

○後援

経済産業省、文部科学省、総務省、独立行政法人情報処理推進機構、情報処理学会

3) 実行委員会・審査委員会

実行委員長 青野 慶久 サイボウズ(株) 代表取締役社長
 審査委員長 小泉 カー 尚美学園大学 芸術表現学部 情報表現学科 教授

4) U-22 プログラミング・コンテスト 2014 スケジュール

| | |
|-------------------|-----------------------|
| 2014年4月1日(火) | 応募要領発表、公式 Web サイト公開 |
| 4月30日(水)～8月22日(金) | クラウド型プラットフォーム利用申込受付期間 |
| 7月1日(火)～8月22日(金) | 応募期間 |
| 8月25日(月)～9月11日(木) | 事前審査 |
| 9月17日(水) | 一次審査会 |
| 10月5日(日) | 最終審査会 |
| 10月6日(月) | 情報化月間記念式典 |

5) 応募結果

応募総数：221 作品（個人部門：148 作品、団体部門：73 作品）

6) 各賞・表彰

事前審査・一次審査を通過した入選 20 作品について、10月5日(日)最終審査会が秋葉原 UDX で開催され、各賞が決定、表彰式を行いました。なお、経済産業大臣賞、経済産業省商務情報政策局長賞受賞者は、10月6日(月)の情報化月間記念式典において、表彰状が授与されました。

■経済産業大臣賞 副賞：奨学金 5 万円

| 作品名 | 制作者名 | ジャンル |
|---|--------|---------------------|
| Nyaplot v0.1.1 | 西田 直樹 | ユーティリティ |
| P. M. カラオケ -Projection Mapping KARAOKE- | MOOMAN | その他（カラオケボックスでの舞台演出） |
| Copal | 馬屋原 昂 | プログラミング言語 |
| Image Encrypter | 大谷 孟宏 | ユーティリティ |

■経済産業省商務情報政策局長賞 副賞：奨学金 3 万円

| 作品名 | 制作者名 | ジャンル |
|--------------|-----------------|---------|
| Build | 怒田晟也 | ユーティリティ |
| SPACE WORKER | TEAM BIG BRIDGE | ゲーム |
| コマアニ Maker | 高見 一総 | ユーティリティ |
| AcroTable | 坂本 蓮 | ユーティリティ |
| TracingDroid | CCH-IPC-C | ユーティリティ |
| オトクジラ | 田中篤志 | ユーティリティ |

■スポンサー企業賞

| 賞名 | 作品名 | 制作者名 | ジャンル |
|---|-----------------------|----------------------|---------------------|
| サイボウズ賞 副賞：レッドブル 100 本 | Planetarium | 吉村 諒 | ゲーム |
| オービックビジネスコンサルタント賞 副賞：Surfase Pro 1 台 | Shokuzai | 清水大輝 | ユーティリティ |
| 首都圏コンピュータ技術者賞 副賞：Quo カード 3 万円分 | 共同プログラミング学習環境 SLTP | 笹木 信吾 | 学習&教育 インターネット・通信 |
| 首都圏コンピュータ技術者賞 副賞：Quo カード 3 万円分 | ItGears | チーム歯車 | ゲーム |
| useful 賞（日本事務器(株)） 副賞：AR. Drone 2.0 Elite Edition - Snow Version 2 台 | 元素図鑑 | 菅野 楓 | ユーティリティ |
| 日本マイクロソフト賞 副賞：Windows8.1 搭載 8 インチタブレット 1 台 | Manage your Life | 佐藤 佑飛 | ユーティリティ |
| ハンズラボ賞 副賞：図書カード 10 万円分 | Shrift OCR Engine | 包含 | ユーティリティ |
| 豆蔵ホールディングス賞 副賞：賞金 10 万円 | うどん県健康マスターK | 香川県立坂出商業高等学校ビジネススキル部 | その他（うどん専用栄養計算アプリ） |
| CSAJ 会長賞 副賞：奨学金 3 万円 | ゲーミフィケーションを用いた読書推奨アプリ | 北村拓也 | その他（アプリ） |
| CSAJ 会長賞 副賞：奨学金 3 万円 | 水 is! | Team 青汁 | ゲーム |

■モバイル賞 副賞：奨学金 3万円

| 作品名 | 制作者名 | ジャンル |
|------|------|---------|
| 元素図鑑 | 菅野 楓 | ユーティリティ |

▼受賞作品紹介⇒ <http://www.u22procon.com/2014/sakuhin.php>

▼コンテスト実施報告書 ⇒http://www.csaj.jp/u-22/2015/report_2014.pdf

7) U-22 プログラミング・コンテスト 2015 実施について

U-22 プログラミング・コンテスト 2015 実施にあたり、12月よりスポンサー募集を開始しました。その後委員会を開催し、コンセプトの決定等企画・検討を行いました。

4. ビジネス・サポート・プログラム (BSP)

- 平成 26 年 04 月 10 日(木)開催
ものづくり・商業・サービス補助金説明会
～IT サービスも対象になる！まだ間に合う補助金利用～
[参加 20 社 23 名]終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/140410_mono.html
- 平成 26 年 04 月 16 日(水)開催
CSAJ の活動を知ろう・利用しよう ～平成 26 年度組織体制及び研究会活動のご紹介～
[参加 26 社 32 名]終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/140416_seika.html
- 平成 26 年 05 月 30 日(金)開催
クラウドを使いこなす！～クラウドサービスに関するリスクと対策を知る～
経済産業省「クラウドセキュリティガイドライン改訂版」と「活用ガイドブック」について
[参加 29 社 33 名]終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/140530_cloud.html
- 平成 26 年 06 月 27 日(金)開催
IT 企業の成長戦略と IPO ～IT 企業の IPO 最新トレンドと業種特有の準備のポイント～
[参加 28 社 32 名]終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/140627_ipo.html
- 平成 26 年 09 月 08 日(月)開催
e - Gov とのビジネス連携 ～電子政府の整備計画とオンライン促進施策～[参加 16 社 27 名]
- 平成 26 年 11 月 20 日(木)開催
プロジェクト・マネジメント入門編 ～プロジェクトを成功に導く 7 つの掟～
[参加 6 社 21 名] 終了報告 http://www.csaj.jp/info/14/141120_pmrepo.html

5. 関係省庁・関連団体などとの協力活動

経済産業省をはじめとする関係省庁・関係団体等からの各種情報等を会員企業へ周知を行うとともに以下の活動を行いました。また、必要に応じて、外部委員会等への委員を派遣しました。

- 経済産業省商務情報政策局情報処理振興課との定期ミーティングの開催
平成 26 年度より、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課との定期ミーティングを 4 回開催し、相互の情報共有を行いました。
- IPA と CSAJ 幹部による定例の意見交換会が以下の通り開催され、IPA からは藤江理事長他 11 名、CSAJ からは荻原会長他 9 名が参加し、合計 20 名で活発な意見交換が行われました。
日時：平成 26 年 7 月 15 日 (火)
場所：アルカディア市ヶ谷
IPA 側：「IT 人材白書 2015」調査について (パッケージベンダの人材動向の深堀) および情報処理技術者試験について、脆弱性届出制度の運用状況および、最近のトピックス
CSAJ 側：品質認証について、人材について、U-22 プログラミング・コンテストについて
- 経済産業省や IPA のソフトウェア高信頼化センターをはじめ、セキュリティセンター、IT 人材育成企画部等における各種公益活動に対してソフトウェア業界団体として参加及び普及啓発への協力などを行いました。また、参加・協力した主な委員会等は以下の通り。
 - ・経済産業省
 - 産業構造審議会情報経済分科会情報サービス・ソフトウェア小委員会
 - 産業構造審議会商務流通情報分科会情報経済小委員会 IT 人材ワーキンググループ
 - ・情報処理推進機構 (IPA)
 - IT 人材育成審議委員会
 - IT 人材白書検討委員会
 - 高度 IT 人材育成産学連絡会

脆弱性情報研究部会
情報セキュリティ白書検討会

○CSAJ が後援する全国高等専門学校 第 25 回プログラミングコンテストは、下記の日程で開催されました。CSAJ 事務局からは、前川徹専務理事が参加しました。

主催：全国高等専門学校 第 25 回プログラミングコンテスト委員会

会期：平成 26 年 10 月 18 日(土)～19 日(日)

会場：一関文化センター（岩手県一関市）

○上記の他、関連団体の主催行事等への後援・協賛を実施するとともに会員企業への紹介および情報提供等を行いました。

掲載 Web ページ <http://www.csaj.jp/activity/information/sponsored.html>

6. 各種 Web 等による情報提供

以下の Web サイトより最新情報等の提供を行いました。また、平成 27 年度で CSAJ は設立 30 周年を迎えることから、CSAJ 公式 Web サイトの全面改訂の準備を開始しました。

1) 会員企業保有技術検索サービス

<http://www.csaj.jp/tmap/>

2) パッケージソフトウェア検索サイト「Find-IT」

<http://www.csaj.jp/activity/findit/>

3) ASP/SaaS 情報ポータルサイト「ASP/SaaS 実力診断ガイド」

<http://www.csaj.jp/activity/aspsaas/>

4) CSAJ Web、E-mail 配信等による各種情報提供

セミナー情報 <http://www.csaj.jp/NEWS/seminar/>

官公庁団体情報 <http://www.csaj.jp/NEWS/activity/government/>

コラム <http://www.csaj.jp/NEWS/activity/column/>

CSAJ NEWS <http://www.csaj.jp/NEWS/member/news/>（会員限定）

5) CSAJ めるまが配信 <http://www.csaj.jp/magazine/>

6) 海外（米国）からの各種情報の定期配信

7) 会員サービスの充実（動画配信・製品情報配信等）

・会員メールアドレス登録の拡大

<http://www.csaj.jp/login/>

・CSAJ Web ページ「会員からのお知らせ」への掲載申請の拡大

<http://www.csaj.jp/activity/information/memberinfo.html>

7. 協会広報活動等

○広告掲載等による協会 PR 活動

週刊 BUSINESS COMPUTER NEWS (BCN) への広告掲載により IT 企業への協会活動周知と入会勧誘を行いました。

○協会 PR 活動のための取材等に対応

・週刊 BCN（平成 26 年 8 月 11・18 日号、25 日号）

藍綬褒章受章インタビュー 和田成史名誉会長

・週刊 BCN（平成 26 年 9 月 15 日号） 会長就任インタビュー 荻原紀男会長

・日本情報産業新聞（平成 27 年 1 月 1 日号） 年頭所感 荻原紀男会長

・ヤノレポート（平成 27 年 1 月 10 日号） 年頭所感 荻原紀男会長

・IPA/SEC Journal 40 号（平成 27 年 3 月 1 日） 巻頭言 荻原紀男会長

○CSAJ プロフィールの刷新と会員証の配布

新規会員候補企業等に CSAJ プロフィールを配布するとともに、新規入会企業には会員証を配布しました。

8. 協会運営業務等

○会員維持・拡大

平成 25 年度より継続して「平成 26 年度会員拡大キャンペーン」を実施し、理事会社をはじめとした会員企業様からの紹介を受け、平成 26 年度は正会員 32 社の入会がありました。

○BCN 購読料 CSAJ 会員特別価格を設定

会員サービスの一環として、週刊 BUSINESS COMPUTER NEWS (BCN) の年間購読料について、『CSAJ 会員特別価格』でお申込みいただけることになりました。

○正会員企業の業態・ニーズ調査の実施

平成 26 年 11 月～12 月に調査を行い、正会員 359 社中、201 社より回答を得ることができ、次年度活動計画策定資料として取りまとめ、理事会に報告しました（回収率 56.0%）。

○正会員売上高・担当者等調査の実施

平成 27 年 1 月～2 月に調査を行い、正会員 362 社中、233 社より回答を得ることができました（回収率 64.3%）。

○一般社団法人コンピュータ教育振興協会 (ACSP) の経理業務およびシステム管理等の業務の一部受託を継続して行いました。

V. 認定試験事業

CSAJ が主催、一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)と共催する平成 26 年度「CAD 利用技術者試験」および「会計ソフト実務能力試験」は以下の通り実施しました。

1. CAD 利用技術者試験

1)CAD利用技術者試験(2次元) 実施状況 試験日:6月23日(前期)、11月10日(後期)

| 1級(筆記+実技) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|-----------|--------|--------|------|-------|--------|
| 前期(建築) | 170名 | 154名 | 91名 | 59.1% | 208名 |
| 前期(機械) | 296名 | 281名 | 92名 | 32.7% | 386名 |
| 前期(トレス) | 76名 | 72名 | 47名 | 65.3% | 71名 |
| 前期合計 | 542名 | 507名 | 230名 | 45.4% | 665名 |
| 後期(建築) | 166名 | 158名 | 81名 | 51.3% | 192名 |
| 後期(機械) | 414名 | 401名 | 207名 | 51.6% | 481名 |
| 後期(トレス) | 91名 | 82名 | 55名 | 67.1% | 113名 |
| 後期合計 | 671名 | 641名 | 343名 | 53.5% | 786名 |
| 年間合計 | 1,213名 | 1,148名 | 573名 | 49.9% | 1,451名 |

| 2級 CBT(4月~3月) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|------------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 4,870名 | 4,770名 | 2,625名 | 55.0% | 5,413名 |

2)3次元CAD利用技術者試験 実施状況 試験日:7月20日(前期)、12月9日(後期)

| 1級(実技) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|--------|------|------|-----|-------|-------|
| 前期 | 252名 | 242名 | 40名 | 16.5% | 369名 |
| 後期 | 311名 | 297名 | 56名 | 18.9% | 359名 |
| 年間合計 | 563名 | 539名 | 96名 | 17.8% | 728名 |

| 準1級(実技) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|---------|------|------|------|-------|-------|
| 前期 | 290名 | 274名 | 123名 | 44.9% | 364名 |
| 後期 | 429名 | 400名 | 170名 | 42.5% | 421名 |
| 年間合計 | 719名 | 674名 | 293名 | 43.5% | 785名 |

| 2級(筆記) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 前期 | 1,003名 | 928名 | 365名 | 39.3% | 1,102名 |
| 後期 | 1,224名 | 1,143名 | 680名 | 59.5% | 1,213名 |
| 年間合計 | 2,227名 | 2,071名 | 1,045名 | 50.5% | 2,315名 |

3)CAD利用技術者試験 基礎試験申込状況 試験日:随時実施

| 平成26年度 (4月~3月) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|-------------------|------|------|------|-------|-------|
| | 899名 | 831名 | 502名 | 60.4% | 779名 |

2. 会計ソフト実務能力試験

試験日:9月28日(前期)、2月15日(後期)

| 1級(筆記) | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 合格率 | H25年度 |
|--------------|------|------|------|-------|-------|
| 1級(一斉試験) | 249名 | 224名 | 149名 | 66.5% | 196名 |
| 特別回/臨時開催 | 50名 | 49名 | 46名 | 93.9% | 59名 |
| 前期(4月~9月)合計 | 299名 | 273名 | 195名 | 71.4% | 255名 |
| 1級(一斉試験) | 96名 | 73名 | 38名 | 52.1% | 120名 |
| 特別回/臨時開催 | 76名 | 73名 | 59名 | 80.8% | 132名 |
| 後期(10月~3月)合計 | 172名 | 146名 | 97名 | 66.4% | 252名 |
| 年間合計 | 471名 | 419名 | 292名 | 69.7% | 507名 |

VI. プライバシーマーク審査事業

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）の審査・指定を受けて、プライバシーマーク指定審査機関（有効期間：平成 25 年 7 月 24 日～平成 27 年 7 月 23 日）として、8 年目になる平成 26 年度は、以下の通り審査事業等を実施致しました。

1. プライバシーマーク審査判定委員会

委員長：水越 尚子（エンデバー法律事務所 弁護士）

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し（委員長以外の委員の氏名、人数、開催日程などは非公開）、プライバシーマーク付与適格性審査や個人情報事故措置審議などを行う第三者委員会として、計 12 回の委員会を開催し、付与適格決定 69 社（更新 62 社、新規 7 社）、個人情報事故措置 15 件を決定致しました。

2. 審査事業実施結果（平成 27 年 3 月 31 日現在）

| | 更新 | 新規 | 合計 | 達成率 | 入会数 | 他審査機関からの変更 | 更新辞退／退会／審査機関変更 | P マーク実質増減数 |
|----|------|-----|------|--------|-----|------------|----------------|------------|
| 目標 | 54 社 | 8 社 | 62 社 | 103.2% | 7 社 | 4 社 | 5 社 | 7 社 |
| 実績 | 56 社 | 8 社 | 64 社 | | | | | |

3. 取得率・審査率（平成 27 年 3 月 31 日現在）

| | 会員数 | 取得企業数 | 取得率 | CSAJ 審査数 | CSAJ 審査率 |
|-------------------|-------|-------|-------|----------|----------|
| 全会員 | 417 社 | 173 社 | 41.5% | — | — |
| 【審査対象】 正会員、準会員 | 369 社 | 165 社 | 44.7% | 139 社 | 37.7% |
| 【審査対象外】 その他会員 | 48 社 | 8 社 | 16.7% | — | — |

※正会員・準会員の取得企業数 165 社の内 26 社は、JIPDEC・JISA・JUAS・MEDIS-DC・KIIS などの他審査機関の管轄。

※CSAJ 審査数には、新規の審査中を含む。

4. 入退会・審査機関乗換数・増減数（平成 19 年 9 月 5 日～平成 27 年 3 月 31 日）

| 入会数 | ①他審査機関からの更新乗換数 | ②CSAJ 新規申請数 | ③更新辞退／退会／審査機関変更 | 累積増減数 (①+②-③) |
|-------|----------------|-------------|-----------------|------------------|
| +82 社 | +83 社 | +97 社 | -43 社 | +137 社 |

※増減数には、新規の審査中を含む。

5. 広報活動・営業活動・その他

- * 「プライバシーマーク・ファーストステップセミナー」【中級編】の開催
- * 「個人情報保護基本規程」「個人情報保護安全対策管理規程」の雛型の提供（Web 掲載）
- * 「個人情報管理台帳」「リスク分析表」などの参考資料の提供
- * 個別相談会の実施（随時、無料） 約 20 社
- * 個別訪問営業 約 40 社
- * コンサルティング事業者の紹介（CSAJ 会員のコンサルティング事業者を Web に掲載）
- * コンサルティング事業者との連携

VII. パッケージソフトウェア品質 (PSQ) 認証事業

CSAJ が主催する平成 26 年度パッケージソフトウェア品質 (PSQ) 認証事業は以下の通り実施しました。

1. PSQ 認証関連委員会

1) PSQ 認証制度委員会

委員長：藤井 洋一（日本ナレッジ㈱ 代表取締役）

ISO/IEC25051:2014 に対応した新評価基準によるクラウドアプリケーションのトライアル評価実施に伴い、評価機関とともに申請対象製品の分析 Mtg/文書評価 Mtg/評価 Mtg を開催しました。

また、ISO/IEC25051 の改定とあわせて、評価機関の拡大、国際相互承認を視野に入れながら「PSQ 認証制度 申請者ガイドブック」の改版を実施しました。

2) PSQ 技術委員会

委員長：福島 満（㈱OSK 品質保証部部长）

今年度は ISO/IEC25051 の改定を受けた評価基準の見直しを行いました。また、評価基準改定に伴い「PSQ 認証制度 申請者ガイドブック」の改版を実施しました。

3) PSQ 判定委員会

委員長：東 基衛（早稲田大学名誉教授）

今年度は 5 回の委員会を開催し、PSQ 認証制度における認証等の授与/拒否/取消し等について審議/判定を行いました。累計認証数は 19 社 24 製品となります。

<平成 26 年度認証(新規・更新)製品>

| 認証番号 | 申請者 | 製品名 |
|-------------------|-------------------|-------------------------------|
| PSQ-Q2014001 | ㈱インテリジェント ウェイブ | VeTracer |
| PSQ-Q2014002 | ピー・シー・エー㈱ | PCA 会計 X |
| PSQ-Q2014003 | ㈱オービックビジネスコンサルタント | 人事奉行 V ERP8（人事奉行 i8） |
| PSQ-Q2014004 | ㈱アールワークス | ASTEC-X |
| PSQ-Q2014005 | ㈱エヌジェーケー※ | DataNature Smart Ver.2 |
| PSQ-Q2014006 | ㈱インテック※ | LogRevi |
| PSQ-Q2014007 | クイックバインダー㈱※ | QuickBinder for iAP |
| PSQ-Q2014008 | サイボウズ㈱ | kintone |
| PSQ-Q2014009 | 弥生㈱ | やよいの青色申告オンライン |
| PSQ-Q2014010 | 弥生㈱ | やよいの白色申告オンライン |
| PSQ-Q2014011 | トレンドマイクロ㈱ | ウィルスバスター™ コーポレートエディション |
| (更新) 2013003-1 | ㈱フォーラムエイト | 土留め工の性能設計計算（弾塑性解析 II+） Ver. 2 |

※非会員

4) PSQ 公正性委員会（新設 委員長：未定） 準備中

5) JIS 原案作成委員会（新設）

委員長：東 基衛（早稲田大学名誉教授）

PSQ 認証制度の評価基準となっている ISO/IEC25051 が改定したことを受け、CSAJ が JIS 原案作成団体となり JIS 原案および解説文を作成し、日本規格協会に JIS 原案を提出いたしました。JIS 規格としてのリリースは次年度内を予定しています。

2. その他の活動実績

① クラウド製品のトライアル評価を実施

ISO/IEC25051の改定を受けた新評価基準により、3社4製品のトライアル評価を実施しました。評価結果は通常製品同様判定委員会に諮り、すべて認証されました。

② 認証制度説明会/品質改善セミナーの開催

26年4月～6月に「PSQ認証制度説明会」を3回、7月～2月は品質改善をテーマとしたセミナーを6回開催し、合計で103社/132名が出席しました。

③ 申請メニューの拡大

申請促進を目的に、シリーズ製品の一括申請による変動価格制（ボリュームディスカウント）の仕組み、および、申請様式の評価機関が代替わりする申請の追加作成代行の仕組みを構築、公開いたしました。